

カテゴリー：復興・防災
プロジェクト名：被災地支援・復興の発信

2017年8月7日
オリンピック・パラリンピック準備局

「未来（あした）への道 1000 km縦断リレー2017」が 両国国技館で最終ゴールを迎えました

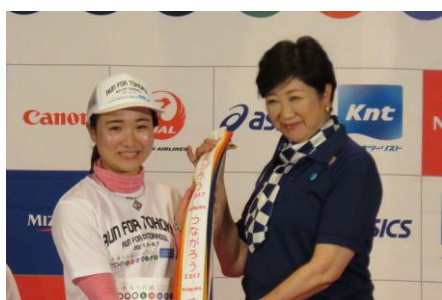
このリレーは、青森から東京まで、東日本大震災の被災地域（全長約 1,230km、145 区間）をランニングと自転車によりリレー形式でつなぎ、復興へ向けた取組などを発信して東日本大震災の記憶の風化を防ぎ、全国から集まる参加者と被災地の方々の絆を深めることを目的に実施しており、今年で5回目となります。

7月24日に青森を出発して15日目の8月7日、ゲストランナーと一般ランナーの約100名が、リレーの最終ゴールである両国国技館に、大歓声の中ゴールしました（15日間で総勢 1,624 名が参加）。ゴール後行われた式典で、リオデジャネイロオリンピック卓球女子銅メダリストの伊藤美誠さんからたすきを受け取った小池知事は、「皆でこの未来（あした）への道を紡いで参りましょう」と挨拶しました。

また、今回のリレーでは、2016年に発生した熊本地震の被災地である熊本県の大学生を招待し、地元の方々と交流しました。



両国国技館へゴール



たすきを受け取る小池知事



6日目、選手宣誓をする熊本県の大学生

（お問い合わせ）

オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部 電話 03-5388-2198